

「めざせ！トップアスリート」教室の開催
～豪華なコーチ陣による陸上ジュニア選手の育成～
(たるいチャレンジクラブLet's・岐阜県垂井町)

1. 『めざせ！トップアスリート』教室とは

陸上は、走・跳・投など、種目ごとに指導を受けられるのが理想です。そんな声を聞いて、たるいチャレンジクラブLet'sでは、種目ごとに専門コーチの指導を受けられる教室を開講しました。それが「めざせ！トップアスリート」教室です。競技力向上を目的としているので、参加資格は中学・高校の陸上部所属で、顧問の許可を得て参加できます(クラブ会員が条件)。教室開講は毎月2回、1時間半～2時間/回です。



2. スペシャリストの講師陣を配置

トップレベルを目指すためには、コーチも優秀な人材が必要不可欠です。隣の市にある大学陸上部の総監督に小倉新司氏(メキシコオリンピック日本代表)が客員教授でいるのを知り、力を貸してほしいとお願いしました。説得するのに半年かかりましたが、クラブの理念や子ども達の思いなどを熱く語ったことにより、指導を引き受けていただきました。しかも、高額謝礼は支払えないことも理解していただき、安価な謝金をお支払いしています。さらに、小倉先生の呼び掛けによって、以下の多くのスペシャリストを迎えることができました。

【講師】 (敬称略)

小倉新司 (岐阜経済大学陸上部総監督)
勝木秀和 (93年世界陸上400mハードル出場)
加藤良浩 (88年世界ジュニア選手権200m出場)
栗田芳郎 (幅跳び高知国体3位)
服部善仁 (高跳びインターハイ・国体出場)
村瀬秀義 (砲丸投げ東海選手権優勝)
和田浩志 (トレーナー、鍼灸師) 他

3. クラブで行う効果

部活動では出来ない部分を補う方針のため、部活動や学業が優先です。部活動の指導者も教室を見にきていただき、コーチと情報を共有してもらいます。大学の練習場はタータン(ゴム製レーン)で公認グラウンドなので、試合のように練習ができます。また、近隣市町からの参加で、学校・学年を超えて仲間やライバルとなり、中学生は高校生から練習姿勢を学ぶことができます。



4年を経て、毎年、全国中学校体育大会やジュニアオリンピック、インターハイに出場する選手が育っています。1期生の山元君(現中京大)は今年のインターハイの砲丸投で大会新記録により優勝し、国体、東海大会も合わせて3連覇の偉業をなしとげ、クラブ会員の憧れ(目標)となっています。クラブ側でも、保護者・生徒が講師陣と話し合える食事会を企画し、家庭でのサポートの仕方等も学びました。競技力向上をキーワードに、クラブが学校や地域を結びつけています。

(岸田美也子 たるいチャレンジクラブLet's ゼネラルマネジャー)

【たるいチャレンジクラブLet's プロフィール】

1. 設立

設立年:平成15年4月

経緯:垂井町教育委員会が中心となり、生涯学習基盤を母体として設立

2. 地域

人口:不破郡垂井町 29,134人(平成22年5月1日現在)

特性:農村地域

3. クラブ

会員数:810名(平成22年5月15日現在)

特徴:スポーツと文化活動の両方を推進している。

予算規模:1,250万円(補助金5,485,000円、自主財源7,015,000円)

4. 連絡先

〒503-2124 岐阜県不破郡垂井町宮代1993-1 垂井町勤労青少年ホーム内

TEL・FAX: 0584-22-0139

Email: taruiletskh@ogaki-tv.ne.jp URL: <http://www.ogaki-tv.ne.jp/~taruiletskh>